

Phoenix Club

第14号

HCD 7th

第7回 広島大学ホームカミングデー
平成25年 11月2日(土)

10:00～(9:00受付開始/9:30開場)

広島大学東広島キャンパス

広島大学卒業生
一般の方
大歓迎

入場無料

オープニングセレモニー 10:00～ サタケメモリアルホール

テーマは「20歳の風景」

→くわしくは2ページ

「広島大学」を舞台に描かれた、それぞれの時代の「20歳の風景」を写真で映し出します。

学術講演 11:00～12:00 サタケメモリアルホール

「歴史に学ぶ志」

山内 昌之さん

東京大学名誉教授。専門の国際関係史、イスラーム地域研究をベースに「リーダーのあり方」を説き、専門外の人にも人気を博しています。広島大学ホームカミングデーでも、歴史を動かしてきた「人間の志」に焦点をあてて語ります。組織を動かす人に、またこれから就職活動をする学生にも、「目からウロコ」の講演です。



→山内先生のくわしいプロフィールは2ページ

サタケメモリアルホール前広場では
HCD学生チームがさまざまなイベントを企画

→くわしくは8ページ

学部・研究科が特長ある企画を実施

→くわしくは7ページ



CONTENTS

第7回 広島大学ホームカミングデー	
メイン会場企画	2
オープニングセレモニー・学術講演	
「広島大学の歴史」展・連携市の物産展・懇親会	
学部・研究科企画	7
HCD学生チームから	8
HCD学生チーム企画	
FF(フラワーフェスティバル)活動報告	

先輩インタビュー13	3
岡田 大介さん	
1983(昭和58)年 総合科学部卒業	
校友会キャンパスライフ応援団	4
ドリームチャレンジ賞第3・5回受賞	
きっず☆サイエンスクラブ広島	
第1～6回課外活動援助団体	
広島大学 水泳部	

私と校友会	4
RCCラジオ局アナウンス部 久保田 夏菜さん	
今どき クラブ・サークル	5
広島大学けん玉サークル DAMAけん	
広島大学 ヨット部	
広島大学発 ビジネス新風	5
研究成果を正しい形で社会に普及させるのが、	
大学発ベンチャーの使命。	

話題の広大2013.2→2013.8	6
「世界水準の優れた研究活動を行う大学」	
として広島大学が選ばれました。	
文部科学省「研究大学強化促進事業」	など
広島大学基金からお願い	6
キャンパスZOOM	6
生物生産学部附属練習船「豊潮丸」	
広島大学校友会事務局から	8



HCD 7th

第7回 広島大学ホームカミングデー
平成25年 11月2日(土)

10:00～(9:00受付開始/9:30開場)

入場無料

広島大学東広島キャンパス



メイン会場



● 連携市町の物産展

時 10:00～17:00

所 サタケメモリアルホール前広場

広大と連携協定を結ぶ広島県内市町から企業や店舗がブースを出展。食材、スイーツ特産品などバラエティに富んだ品揃えで、地域の皆さまにも毎年大好評をいただいています。



● 「広島大学の歴史」展 (文書館)

時 10:00～17:00

所 サタケメモリアルホールロビー

毎年、テーマを変えて懐かしい写真をセレクト展示します。

文書館企画展

「昭和のかお里」優品展

時 11月1日(金)～2日(土) 10:30～17:30

所 中央図書館1階ロビー

広島師範学校(現大学院教育学研究科)の卒業生・名方義純氏が収集した有名人2,200人分の短冊・色紙を文書館が受贈したことを記念して展示します。学術的・美術的に貴重なコレクションです。

問 文書館 TEL082-424-6050

情報メディア教育研究センターセミナー

正しく怖がるインターネット
～親子で学ぶ情報モラル～

時 13:30～16:30 所 情報メディア教育研究センター

【対象】小学校高学年～(定員100名)事前のお申込みが必要です。広島大学が深く関わってきたインターネットの歴史や特性などを紹介。PCを使った簡単な実習も用意しています。
※実習教材などはソーシャルゲーム事業を展開するグリー(株)が提供します。

問 情報メディア教育研究センター
TEL082-424-6252

申 <http://www.media.hiroshima-u.ac.jp>

キャリアセンター企画

就活スタート前夜祭!
広大卒業生が語る業界&働くこと
11月30日(土)

基調講演・個別交流会

時 13:00～17:30 所 法・経済学部

【対象】在学生のみ
各業界を代表する企業などから若手社員が出席。業界の最新情報を語ります。

懇親会

時 17:30～19:30 所 東福利会館

問 キャリア支援グループ TEL082-424-5827

全学

● 大学祭
11/2(土)、3(日) 10:00～20:00

● E-storm (教育学部祭)
11/2(土)、3(日) 10:00～19:00

周辺

● 東広島天文台観望会
時 17:00～19:00
所 東広島天文台 **事前申込要!**

宇宙の謎の解明につながる数々の研究成果を発表して注目される天文台です。国内有数の望遠鏡で美しい宇宙をご堪能ください。
※天文台へはマイクロバスで送迎します。



株式会社ベネッセコーポレーション 取締役副社長

岡田 大介さん

1983(昭和58)年 総合科学部卒業

「さまざまなかんな友だちと出会って 世界が広がった。 僕のルーツは総科です」

ベネッセコーポレーションは、教育・生活事業から、語学・グローバル人材育成 シニア・介護事業までをカバーするベネッセグループの中核企業。岡田大介さんは、その転換期、成長期を、社員として支えてきた一人です。多摩市の東京本部を訪ね、創設後間もない総合科学部で培ってきた、自己形成のルーツを思い返していただきました。岡田さんが語る「大学生生活のすすめ」です。

「創業者の思いに心を動かされた」

大学時代にアジア研究を専攻していたこともあって、入社するときから目標は「教育事業の海外展開」でした。でも、当時はそういう例もなかったし、無謀だと思われていたでしょうね(笑)。もっとも、僕だって、すぐに実現すると思っていたわけではありませぬ。「面白そうな会社だ」という直感だけで入社したんですから。

大学生のとき、福武書店の企業説明会を手伝う機会がありましたね。その時知ったんですが、福武書店は一度、黒字倒産してるんです。「二



度と倒産させるものか」という強い思いで、創業者は「現金主義」「無在庫経営」「継続ビジネス」というビジネスモデルを確立した。そのことを、誇りを持って語る会社に、とても興味を持ちました。ここから夢も実現できるのではないかと。実際、入社5年で、幼児対象の「こどもちゃれんじ」事業の立ち上げに携わり、翌年には

幼児教育講座を台湾で開講することになったんです。ほんとに嬉しかったです！

台湾での「総科」の出会い



実際に台湾に行ってから「海外展開」の難しさに直面し通して。ブランドも浸透していないし、生活や教育の習慣も制度も違いますから。だけど、その地の社会的な課題を探しながらあれこれ戦略を考えていくのは刺激的でしたよ。それに、面白い出会いもありました。

現地には日本人もたくさんいるのですが、多くの人は情報収集のために「台湾通信」という新聞を読みます。台湾のホットな情報と日本の最新ニュースを日本人向けにまとめたものなのですが、この発行人がなんと総科の1つ上の先輩ではありませんか。大学時代から言語や中国関係などアジア研究をしていたそうで、それを活かして、現地で活躍されている姿に敬服しました。

友だちと話す世界が広がる

私は、歴史も好きだし、政治にも教育にも、いろんなことに興味があった。だから総科に進学したんです。総科はカリキュラムの幅が広いでしょう、興味の向くままに、選んだ講座は心理学、統計学、教育、アジア研究、言語……。学部の魅力フルコースで味わいました。

でも、当時の総科はまだ設立5年ほど。他の学部や学外のの人から見ると「謎の学部」だったでしょうね(笑)。そこで、まずは自分たちが学部を理解し、発信していこうと。で、立ち上げたのが「総合科学部連絡会」。学部生が集まって話す会合です。これが面白かった。文系もいるし理系もいる、趣味や関心もさまざまです。話しているだけで、それまで知らなかった新しい世界を知ることができちゃいます。時間があれば集まって話していました。こうしながら自分たちのアイデンティティを探していたのかもしられせんね。

学生時代が必ず生きてくる

学生時代は、いろんな人と、いろんな話をしましょう。僕が、今の学生さんにお薦めするのはこれだけです。私自身、社会人になって、やっとその価値や重要性に気がきました。人との会話やディスカッションが、自分の考えを拡げ、フットワークを軽くしてくれる。

思い返してみると、面白かった会社に飛び込んだり、新しい事業に挑戦したりできたのは、僕が、自分の知らないさまざまな世界があると知っていたからだと思うんです。限られた知識だけで、一つの視点、一つの価値観で固まっていたら、何もできなくなってしまう。そう、僕のルーツは総科ですよ。

だから、知ることを面白がって、しっかりと勉強してください。ブラッシュアップを続け、良い人生を作り上げていきましょう。臆せず！

岡田大介さんプロフィール

山口県出身。広島大学総合科学部を卒業。株式会社福武書店(現ベネッセホールディングス)に入社。その後台北支社長として海外事業を担当。平成25年6月から現職。現在は東京本部に常駐して、海外新規事業のほかに家庭学習事業も手掛ける。

株ベネッセコーポレーション

日本最大の通信教育サービス「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」「進研模試」などの教育事業、「たまごクラブ」「ひよこクラブ」などの生活事業を活動領域とする。「教育のデジタル化」「グローバル人材育成」を重点テーマに、「教育事業分野で世界ナンバーワン企業」を目指す。



「総科5」のプレート前には大学2年生の頃の岡田さん。大久野島でのオリエンテーションキャンプに新入生をアテンドしたときの様子です。

その頃の廣大



↑東千田キャンパスの総合科学部校舎。
←昭和58年の東千田キャンパス。これが当時の女子大生のキャンパスファッション。いずれも広島大学図書館所蔵(エリオ写真出版撮影)



取材の後で

◆最も印象深かったのは「人が成長するためには若いうちからさまざまな価値観の中に身を投じることが必要である」という言葉です。若いうちから海外事業に携わってこられた岡田さんだからその説得力のある言葉が、私にとっても、これからの人生をより良いものにするために最も必要だと感じました。未知の世界へ一歩踏み出す勇気を持ち、行動することをこれからの目標として大学生活を過ごしていきたいと思えます。(文学部二年 合木慎一郎)

◆岡田さんの「あつと驚く体験談」を聞くことができた、実りある時間でした。中でも感動したのが「通信教育」についてのお話でした。子どもたちが日本のどこにいても、最高の教育を平等に届けられるようにしたいと、利益よりも生徒の学習効果を一番に考えた教材作りや添削の話は、教育者を目指している私にとって大変刺激的でした。子どもたちに考えさせる教育を、私は私の理念をしっかりと持って進みたいと思います。(文学部三年 加川すみれ)

校友会キャンパスライフ応援団

広島大学校友会は、校友会員在学生のキャンパスライフをサポートしています。

ドリーム
チャレンジ賞
第3.5回受賞

広大生の知識と発想を 子どもたちへ



「子どもは理科離れしていません。面白いことには目を輝かせて、自分でやってみようとしてます」。そう話すのは、きつぷろサイエンスクラブ広島の川崎くん。広島市内外の小学校で実際に科学の授業をして、その楽しさを伝えようと活動しています。

リンゴやレモンだけでなく、食パンを使って「果物電池」の実験を試みたり、ドライヤーはどれだけ電気を使っているのか、発電機付きの自転車をこいで測ってみたり…。授業の内容は、川崎くんたちが企画。広大生の知識と発想を詰め込んだ遊び心あるものばかりです。答えを探すために実験をする、その楽しさを感じさせる工夫がいっぱい。そのためにも、ドリームチャレンジ賞に応募しました。



教壇に立つと、子どもたちからは「博士」と呼ばれます

きつぷろサイエンスクラブ広島

「どうしてだろう」をみんなで解決
ユニークな実験で伝える科学の楽しさ



「色を分ける」をテーマに実験中

教育の場は 僕らの学び場

この活動は、川崎くんたちにとっても学びの場。教員志望のメンバーが多いため、教育実習以外で授業ができるこの活動は貴重な機会なのです。回を重ねていくうちに、言葉かけひとつで子どもたちの反応が違うことに気づいたそう。「考えてみよう」と促してもなかなか進まない。これに似ているものはないかな？ など、考えるべき内容が分かる質問をすると、みんな積極的に考えてくれるんです」と川崎くん。他にも、同じテーマを学年によって授業構成を変えて扱うなど、自身の研究結果を活かした工夫を凝らしています。

教科書にはない授業をして、テキストからは得られない経験を積む。そのために、彼らはまた新しい実験を引っ提げて「学びの場」へと向かいます。子どもたちの、そしてメンバーの未来へも繋がるこの活動を、校友会も応援しています。



小学校や地域の生涯学習センターからの依頼を受け、年間約20回の授業を実施。エリアは広島市内だけでなく、広島市、尾道市、世羅町など幅広く、PTAや教育委員会と連携した科学実験教室も担当しています。

第1〜6回
課外活動
援助団体

広島大学 水泳部

インカレ団体出場へ向け
泳ぎっぱなしの毎日!

汗出せ 声出せ 元氣出せ

「部員たちが次々とプールへ飛び込んでいきます。水温が29度にまで上がった7月。これらが彼らの本シーズンです。」

部員は31人。1年生が一番多い、フレッシュな部です。訪れた日は、インカレの予選を前に、練習にも気合いが入っていました。「水泳は全身をまんべんなく使うスポーツ。自分では見えないので、互いにチェックしたり、ビデオを撮って確認したりしています」と話してくれましたのは、部長の森くん。



「ここで強くなるぞー」などの声ひびきりな声の飛び交います。「みんなで率先して声を出すと、雰囲気がよくるので」と森くん。声の持つ勢いが部全体の活気となり、モチベーションが上がるのだそう。

それぞれの 目標に向かって

ベストシーズンの今、試合も立て込みます。「先日は愛媛県で大会がありました」。県外に遠征することも少なくありません。平日は連日厳しいトレーニング、そして週末には試合。なんともハードですが「練習した成果が試合で出るとうれい」と森くん。そして「来週は山口県です」とニコリ。



まずは「男女ともにインカレ団体出場」へ向けて、部全体でまっすぐ前進中です。遠征のための費用の一部は、校友会の「課外活動支援」

みんなで泳ぐ OB会

部員みんなが楽しみにしている行事の一つは、年に1回行われる「OB会」。集まるのは去年の卒業生から上は70代の大先輩までなんと約100人。全員がプールの貸しきって泳ぐのだそう。懇親会はその後です。「先輩方と交流できる貴重な機会。いい報告ができるようにと思っています」と森くん。普段からホームページをママに更新したり、会報を作ってOBのみなさんに送ったりもしています。応援してくれる先輩たちの存在が、部員の励みになっているようです。

現役の部員同士も、尊敬する先輩たちとも、いい関係を築いている広大水泳部。「みんなには言わないですけど」と言いながら「このチームの主将でよかったです」と話してくれた森くんの笑顔が印象的でした。



●水泳部OB会「広泳会」は、広島大学校友会団体会員として登録されています。



私と
校友会
3

初めての学生司会者。
ドキドキでした。



第2回
ホームカミングデー
学生司会者

RCC ラジオ局
アナウンス部
久保田 夏菜さん
平成20(2008)年度
文学部卒業

卒業後はテレビ愛媛に就職。地域に愛されるアナウンサーとして4年間活躍。そして平成25年4月、中国放送へ入社。「いつかは地元広島でアナウンサーをしたかったので、夢が叶って嬉しいです。せっかく広島に戻ってきたので、広大生と交流できる機会があるといいなと思っています」



▲学生司会者の久保田さん(右)

◆HCD初の学生司会者に
私が担当したのは、第2回ホームカミングデーの司会です。その頃のホームカミングデーは、学生がそれほど関与しておらず、今のように学生チームの企画などはありませんでした。だから「堅い式典」というイメージを持っていて、私が司会という大役を担うなんて信じられませんでした。とっても緊張して、何を考えていたとかどう感じたとか、全然覚えていません(笑)。でも、その頃すでにアナウンサーになれることが決まっていたので、お話をいただいたときには迷わずお受けしました。ホームカミングデー初の学生司会者という一つの貴重な経験になり、挑戦してみてもよかったと思っています。

◆たくさんの経験は自分を広げる

大学生のうち好きなことを見つけておくことをお勧めします。たとえば「ガッツリ」と打ち込めなくても、いろんな世界を知っておくと、将来自分の引き出しがたくさんあることに気が付くはず！そして、興味がある人は留学にも挑戦してほしい。就職すると留学できる機会はそうそうありません。「留学しておけばよかった」というのは私の唯一の後悔です。今では「やらないで後悔するより、なんにでも挑戦してみる」は私のモットーになっています。時間をうまく使えば、きつというんなことに挑戦できますよ。



ヨット部



現在はインカレに向

●中国インカレV3を目指して
ヨットの試合は、スタートラインから一斉に出発し、決められたマークを回り、ゴールする着順を競います。乗るのは2人1組で、一方は波立つ海面を見て風の方向をよみながらセール（帆）を操り、もう一人は潮の流れを計算しながら舵をとりまわります。

部のルールは「掃除、整理整頓、時間を守る」。「僕たちは海に出て、自然の厳しさと戦わなければなりません。そのためにも、当たり前前のことはきちっとこなします」と本田くん。スポーツマン精神がしっかりと根付く、たくましい部です。

●毎週末を共に過ごす「半家族」
62年もの歴史を持つ広大ヨット部。現在は26人の部員が活動しています。練習場は広島市の観音マリーナ。艇庫や研修施設もそこにあるので、みんな、授業のない土日を利用して、炊事や掃除などもこなしながら、練習に明け暮れます。主将の本田くんは「毎週末を丸々一緒に過ごすから、部員は半家族のよう」と話してくれました。

一年の三分の一は海の上で奮闘

「それでもまだまだカバールしきれません。先輩からの支援や大学からの補助、そして家族からの応援が僕たちを支えてくれています。僕たちが活動できるのは、支援あつてのことだと、いつも感謝しています」と本田くん。

その気持ちを還元しようと、年に1度「ファミリーデー」を開催しています。部員が家族を招待し、クルージングやバーベキューでもてなすというものの。実は、取材をしたのはファミリーデーが始まる直前。いつも支えてもらっている家族に、ヨット部の一員として活躍する姿を見せようと、一生懸命準備をする部員たちの姿があったのでした。

●感謝の気持ちを忘れない
施設の電気代やヨットの購入費、停泊料、維持費……。ヨットにはなにかとお金がかかります。それを賄うため、シーズンオフには引越しやクリスマスケーキ作りなど短期のアルバイトに、部員総出で取り組みます。つまり、バイト部々に変身するのです。

「先輩が作ったものを繋いでいきたい」という思いごと、受け継がれているんですね。

広島大学けん玉サークル DAMA けん



年齢も国籍もけん玉で越える

勢いに乗るサークル

●勢いに乗るサークル
広大のけん玉サークル「DAMAけん」は、地元の子どもの間では、結構有名です。メンバーが手分けして、保育園や幼稚園、小学校に出向いては、けん玉教室を開いて指導しているからです。この活動は「けん玉を若者男女問わずに楽しめるスポーツとして広めたい」と、2001年の創部時から続けています。ホームカミングデーやひろしまフューチャステイバルの広大校友会ブースでも、毎年のように技を披露。7月にはフジテレビの「笑っていいとも！」に出演。生放送の緊張にも負けず、堂々と技を披露し、大歓声を浴びました。人気は、さらに上昇中です。

当初7人でスタートしたこのサークルも、現在のメンバーは22人。順調に成長してきました。

「もしかめ」8時間の記録

けん玉には「もしかめよ」の歌に合わせて、リズム良く玉を大皿と小皿に交互に載せていく「もしかめ」と呼ばれる技があります。そして、その持続時間を競う大会が「全日本けん玉道もしかめ選手権」。ここで「8時間」

という記録を残したのが、11代目代表の濱崎くん。試合は8時間で終了するため、実質の最長記録ではないものの、この記録を持つのは日本に8人だけ。しかも、記録保持者8人中3人がDAMAけんメンバー（当時）なのです。

●「代々続く」がいつばい
DAMAけんは代々続く行事の一つ、モンゴル遠征。モンゴルはけん玉が盛んで、体育で取り入れている学校があるほど。「目的の地まで、状態の良い道道を40時間もバスに揺られます。本当にきついですけど、初代からの伝統なので。もちろん後輩にも受け継いでもらわないと（笑）」と濱崎くん。滞在中は、技の指導やパフォーマンスなどを通して、彼らにしかできない国際交流、異文化理解を図ります。校友会も、ドリームチャレンジ賞でこの遠征を支援してくれました。

「先輩が作ったものを繋いでいきたい」という思いごと、受け継がれているんですね。

広島大学発

ビジネス新風

研究成果を正しい形で社会に普及させるのが、大学発ベンチャーの使命。

株式会社 広島クライオプリザベーションサービス

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-10-31 インキュベーションオフィス
TEL&FAX 082-421-3746
設立/平成23年6月20日 資本金/450万円



平成24年度「ひろしまベンチャー育成基金」で大賞を受賞した(株)広島クライオプリザベーションサービス。社名の意味は「冷凍保存」—豚の人工授精のために凍結精液の製造を受託、アドバイスする会社です。広島大学生物圏科学研究科の島田昌之准教授の研究を基に、官学がコラボしたビジネスの“成功例”として全国的にも注目を集めています。

研究室と現場を結んで
ビジネスに

話をもち込んだのは、大分県農林水産研究指導センターの技術員、岡崎さん。広島大学生物圏科学研究科博士課程後期に社会人枠で入学するにあたって、「豚の交配に凍結精液を使う技術を確認できないか」という相談でした。

酪農や肉牛生産では人工授精が一般的に

行われていますが、多産の豚では自然交配が70%を占めています。しかし、季節による種付け成功率や生産コストが変動すること、計画的な生産が難しいことなど、課題も多く、養豚農家からは、牛と同じように冷凍精液を使った人工授精技術の確立を求める声は強かったのです。特に、大分県はブランド豚の生産に力を入れており、系統を確立するためにも人工授精を待望していました。畜産の現場の切実な要望と研究室を結びつけたのが、広大で培われた人脈だったのです。

凍結精液を使った
人工授精プロセスを確立

島田准教授の研究は「動物生殖学」。マウスを使ってホルモンや卵子の研究をしてきました。

「畜産業界では『生殖工学』という領域が確立されており、技術的な研究は非常に進んでいます。しかし、私は生物学の基礎的な解析からやることで、凍結時の精子細胞膜の損傷を防ぐ手法を確立することができました」さらに、凍結精子を融解するときや、受

精時の細胞の変化にも着目。人工授精のための条件を最適化して、受胎成績が自然交配並に高い「人工授精プロセス」を確立したのです。

この研究には畜産業界の期待が集中。「1日も早くビジネス化を」という農家の声に後押しされるかたちで、(株)広島クライオプリザベーションサービスは設立されました。ビジネスプランを作成する段階から、広島大学ベンチャービジネスラボ（VBL）がサポートしています。

“好きな研究”と応用研究、
どちらも大切

「もちろん、ビジネスなので利益は確保しなければなりません、それよりも、技術を一番いい形で社会に普及したい。それが、大学発のビジネスの役割だと思っています」と島田准教授。低価格で技術を提供しているから、農家もブランド豚の交配育成にも取り組むことができます。すでに、商社を通して海外への展開もスタートしていますが、島田准教授は、ビジネスそのものよりもビジネ

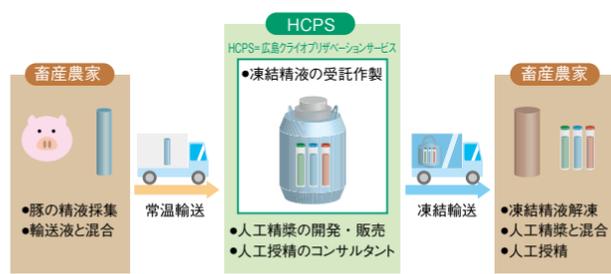
スを通して知らない世界に触れ、新しい経験ができることが楽しくてたまらない様子です。

次は、凍結技術を人の不妊治療に応用するビジネス応用。不妊治療の専門医療機関との共同研究で、これも取り持ったのは生物圏科学研究科の卒業生。(公財)アクティブベースくれの支援を受けて、現在、精子凍結キットとマニュアルを作成中です。

「研究には「好きな研究」と「必要な研究」がある。両方やりなさい」—これは、生物生産学部時代の恩師、藤田先生の言葉。これからは「サイエンスとビジネス、どちらの研究も大切にやっていきたい」と、島田准教授は結びました。



広島クライオプリザベーションサービスのビジネスモデル



話題の 広大 2013.2 → 2013.8

広島大学発のトピックを、
少しくわしく。

NEWS!

「世界水準の優れた研究活動を行う大学」として 広島大学が選ばれました。 文部科学省「研究大学強化促進事業」

8月6日、文部科学省から平成25年度「研究大学強化促進事業」の支援対象機関が発表され、全国22研究機関の一つとして広島大学が選定されました。

選定の基準となったのは、競争的資金の獲得状況や国際的に価値の高い研究成果、産学連携の活発さなど、これまでの研究活動。さらに、大学が作成する「研究強化実現構想」に基づいてヒアリングが実施され、総合的に審査したうえで支援対象が選定されました。

今後10年間、研究力強化の取組について年間3億円の支援を受けることとなります。

日本発の再生医療技術として 軟骨の再生医療技術が、 初の保険適用に



広島大学病院整形外科
越智 光夫 教授

傷ついた軟骨組織の細胞を取り出して培養し、欠損した部分に移植する治療法を、越智教授が確立。愛知県のベンチャー企業による3年間の臨床試験の後、平成25年4月1日から保険適用となりました。日本で開発された再生医療技術に保険が適用されるのは初めてです。

損傷した軟骨は自然に再生することはありませんが、スポーツなどによる外傷性軟骨欠損症や離断性軟骨軟骨炎が、この治療方法によって治療への道が開けました。

研究大学強化促進事業
「日本の研究力強化」という目標に向けて、国際競争力を持つ研究機関を選んで集中的に支援を行うという事業。従来の選定方法を転換し、指標に基づいて「世界で戦える研究力のある大学」を選定。継続的な取組を戦略的に支援するもの。

「研究大学強化促進事業」支援対象機関

4億円	東京大、京都大、東北大、名古屋大
3億円	筑波大、東京医科歯科大、東京工業大、電気通信大、大阪大、 広島大 、九州大、奈良先端科学技術大学院大、早稲田大、自然科学研究機構、高エネルギー加速器研究機構、情報・システム研究機構
2億円	北海道大、豊橋技術科学大、神戸大、岡山山大、熊本大、慶応大

※区分は支援金配分額による

平成25年度 文部科学大臣表彰 「科学技術賞 開発部門」受賞



医歯薬保健学研究院
二川 浩樹 教授

手指消毒に使われる第四級アンモニウム塩を化学合成で固定化する技術を、医歯薬保健学研究院の二川浩樹教授が開発しました。インフルエンザウイルスなどの空気感染や接触感染のリスクを軽減できることが評価されて文部科学大臣賞を受賞。この研究成果は「Etak」という名称です。抗菌剤や衣料品、スポーツ用品などとしてメーカー各社から商品化されています。

●「Etak」のご紹介は「Phoenix Club」12号でも紹介しています。

「本学の取組」
●学術系・専門系・事務系人材が総合力を発揮できるURA組織体制を整備するなど、研究推進体制・研究環境の整備

●世界的研究拠点の継続的創出のため、研究拠点育成・選定システムを整備
●ライティングセンターの拡充、国際共同研究のための客員（特任）教授の招へい、国際共同研究支援等により、国際研究活動の活性化を図る

●優れた研究人材の確保・育成のための競争的環境の確立（個人評価の点数化・処遇への反映と年俸制の適用拡大

●広島大学基金からお願い

**新入生を
海外の協定大学等に派遣
「STARTプログラム」に
ご支援を！**

広島大学基金は「広大生の海外研修支援事業」に力を入れています。社会的に期待されている「グローバルに活躍できる人材の育成」をめざして、広島大学は学生の海外留学制度を拡充しています。中でも「STARTプログラム」は、海外経験の少ない新入生を対象とした短期海外研修制度で、昨年度は120名の学生が参加しました。学生たちの負担を最小限に抑えられよう補助しているのが「広島大学基金」。今後、さらに多くの「広大生」が海外に留学し、国際人としての成長チャンスを広げていくことができるよう、研修学生の倍増を目指しています。

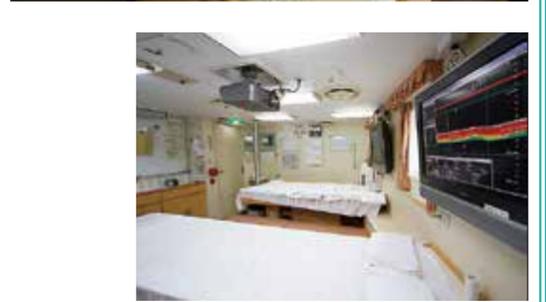
●広島大学基金の寄附のご案内を同封しています。皆さまから広大生へのご支援の寄附をお待ちしています。



キャンパス ZOOM



カーナビのような役割の電子海図



学生の食堂兼講義室。ここでも操縦席のモニターが見られる

生物生産学部附属練習船「豊潮丸」 海を調査し人を育てる。「大学の船」の役割。

●学生の調査や研究をサポート

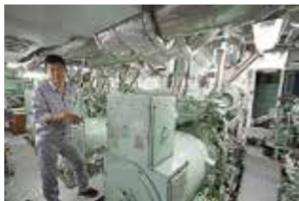
呉市の港に、広大の学章を煙突のファネルマークに掲げる船が停泊しています。これが生物生産学部の練習船「豊潮丸」です。学生の教育や研究のためのもので、今ある船は4代目。初代が設置されたのは昭和24年のことでした。

研究内容は、クラゲなど海の生物から海底環境まで多彩。沖へ出ると海水を採水し、水温、塩分、溶存酸素、植物プランクトンなどを調査しています。航海日数は、日帰りから10日以上までさまざま。今年5月には、11日間かけて沖縄の海を調査したのだとか。

大学に練習船があることで、学生はより本格的な調査をすることができ、より正確なデータを集めることができます。そのため、他大学から申請を受け出航することも。海の研究は海に出るのが一番です。さらに、地域団体が主催するイベントなどにも利用されており、小学生や中学生の航海体験も叶えています。

●調査航海に最適な電気推進船

多くの船は、大きなメインエンジンと補助エンジンによって動いていますが、豊潮丸にはメインエンジンがありません。3台の発電機でモーターを動かし、プロペラを回すことにより進む「電気推進船」なのです。プロペラは「全旋回式縦軸推進機・可変ピッチプロペラ」。前進や後退、横移動までプロペラの角度を変えるだけで自由に操縦可能。また、全速、微速、停止など速度の調整も簡単です。調査のときには、海水や海底の泥を採取することもしばしば。そのとき、このプロペラなら、微妙に位置を変えることも、同じ位置に留まることも容易にできます。



さらに、電気の消費量に合わせて、発電機の台数を自動制御でき、その分CO₂排出量も抑えられる。豊潮丸は優れたシステムを採用しています。

●国境をまたぐ調査航海へ

1年次のフィールド科学演習から4年次の海洋生物学特別実習まで、生物生産



中四国にある大学の練習船では最大級



学生たちはずっと船の上で衣食住を共にします。「同じ釜の飯を食う、ついでに機会が少ないから、きっとそれを含めたい経験になると思いますよ」と船長の中口和光准教授。航海を終え呉に戻ったときの学生は、日に焼け、船酔いにも慣れ、少したくましくなっているそうです。

HCD 7th

第7回 広島大学ホームカミングデー
平成25年11月2日(土)

10:00～(9:00受付開始/9:30開場)

学部・研究科企画

総合科学部・総合科学研究科

「学生による海外留学報告会」と 「総合科学部後援会総会」

時 13:30～15:00

所 総合科学研究科第1会議室

13:30～14:00 学生による海外留学での体験談などの報告会です。一般の方にもご参加いただけます。

14:10～15:00 総合科学部後援会総会

問 総合科学研究科 運営支援グループ
TEL082-424-6306

文学部・文学研究科

世界とふれあう語学カフェ

時 14:00～16:00

所 文学研究科 B153講義室
講義棟1階学生ロビー

文学研究科で学ぶ留学生が、講師として、日常会話レベルの母国語や出身国の生活・文化を紹介します。留学生の出身国のお菓子を食べたりお茶を飲んだりしながら話を聞き、気軽に異文化を体験してください。毎年、卒業生や保護者の皆さんから好評をいただくこの企画、今年度はブラジル・ハンガリー・中国からの留学生に依頼する予定です。

問 文学研究科 運営支援グループ
TEL082-424-6604

教育学部・教育学研究科

演奏会 オペラハイライト上演

時 13:30～15:30

所 教育学部音楽棟演奏室 (F101)

教育学研究科、教育学部の院生、学生、教員が、演奏だけでなく小道具、大道具、舞台装置、照明、衣装などを協力して製作し、オペラハイライトを上演します。

問 音楽文化教育学講座事務局
TEL082-424-6834

プレゼンテーション

「まなぶ・はたらく・くらす」

時 10:00～17:00

所 北体育館及び体育館前駐車スペース

特別支援教育学講座及び特別支援教育実践センター教員の研究を中心として、「まなぶ」(ICTを活用した学習)、「はたらく」(本学の障がい者雇用等)、「くらす」(ノンステップバスの体験)に関する展示・発表・体験を行います。(ノンステップバスを使った車いす・高齢者体験:(10:00～16:00の間、3回程度実施予定))

問 特別支援教育学講座事務局
TEL082-424-7180

法学部・経済学部・社会科学研究科

講演会

公認会計士の異文化体験-日本とアメリカ-

時 13:30～14:45

所 法学部・経済学部講義棟B351大会議室

法学部長、経済学部長、社会科学研究科長の挨拶と近況報告に続き、廣瀬 治彦氏による講演会を開催します。

懇親会

時 14:50～15:30

所 法学部・経済学部研究棟A102中会議室

問 社会科学研究科 運営支援グループ
TEL082-424-7205

理学部・理学研究科

理学部生物科学科同窓会 記念講演会

時 12:30～16:00 (12:15受付開始)

所 理学研究科E002

「ピブリオ科海洋性細菌の海洋動物との相互作用と進化」
Henryk Urbanczyk 宮崎大学IR推進機構・IRO特任助教
(広島大学院H17年了)

「ミトコンドリアダイナミクス」

岡本浩二 大阪大学生命機能研究科・准教授

(広島大学H2年卒・院H7年了)

講演会に先立ち学科紹介、終了後懇談会および海外在住の卒業生からのビデオレターなどの紹介を予定しています。

問 理学研究科 生物科学専攻
TEL082-424-7470 (事務局)・7455 (鈴木)

理学研究科地球惑星システム学専攻

女性研究員の同窓生を囲んでの
「ホームカミングシンポジウム」

時 13:00～17:00

所 理学研究科B棟603号室

本専攻を修了した女性研究者3名によるシンポジウム。パネラーには大友幸子氏(山形大学地域教育文化学部・教授)、内尾優子氏(国立科学博物館・研究推進課係長)、中田令子氏(海洋研究開発機構・特任技術研究副主任)を予定しています。

問 理学研究科 地球惑星システム学専攻事務局
TEL082-424-7469

先端物質科学研究科

研究室公開

時 11:00～15:00

所 先端物質科学研究科及び
ナノデバイス・バイオ融合科学研究所

【研究室公開】量子物質科学・分子生命機能科学・半導体集積科学の3専攻の8研究室を公開。実際に研究の現場に触れていただきます。

問 先端物質科学研究科 運営支援グループ
TEL082-424-7007

工学部・工学研究科

研究室訪問・パネル展示

時 13:30～15:00

(13:00受付開始 工学研究科管理棟玄関)

所 工学研究科大会議室 他

研究科長挨拶と近況報告に続き、各研究室訪問。管理棟2階ロビーでは「大学祭工学部企画の紹介と学内案内」「千田キャンパスの思い出(パネル展示)」を行います。

問 工学研究科 運営支援グループ
TEL082-424-7505

生物生産学部・生物圏科学研究科

食料・環境問題国際シンポジウム

東南アジアと日本における水産資源の持続的利用と保全

時 13:00～16:30

所 生物生産学部C206講義室

東アジアにおける水産資源の増殖と海洋資源の保全について意見交換します。講師はカセサート大学(タイ)、アイルランガ大学(インドネシア)からお招きする教授と広島大学生物圏科学研究科の海野准教授です。また、客員教授に就かれる熊井英水先生と坂田明先生の就任式も行います。

問 生物圏科学研究科 運営支援グループ
TEL082-424-7904

国際協力研究科

20周年記念セミナー

「教育・研究・社会貢献活動を振り返って」

時 13:30～15:00

所 国際協力研究科大会議室

国際協力研究科は2014年4月に創立20年を迎えます。これを記念し、退職教員、修了生、教職員と現役学生が集い、研究科がこれまでに行ってきた教育活動、研究活動および社会貢献活動について自己点検するセミナーを開催します。

問 国際協力研究科 運営支援グループ
TEL082-424-6905

霞地区合同 医学部・歯学部・薬学部・医歯薬保健学研究科・原爆放射線医科学研究所・大学病院

講演会

「再生医療と人工臓器」

北村 惣一郎氏

国立循環器病センター名誉総長・堺市立病院機構理事長

北村先生は心臓移植の最前線で、移植体制の構築から心血管系の医療機器の開発までを手がけた心臓外科医。細胞移植の臨床応用研究に力を注ぎ、再生医療の道を切り開いてこられました。再生医療の第一人者として、その現状をお話しいただきます。

問 医歯薬保健学研究科等運営支援部
TEL082-257-5601・5602



北村 惣一郎氏

霞キャンパスマップ



霞キャンパスアクセスマップ



- 霞キャンパスへの交通
- 【JR広島駅から】
 - 広電バス 大学病院行き (所要時間約15分)
 - 広島バス 旭町線 (所要時間約15分)
 - 【JR横川駅から】
 - 広島バス 大学病院行
 - 【JR西広島駅から】
 - 広電バス 大学病院・旭町方面
 - 【広島バスセンターから】
 - 広島バス (横県) 線
 - 【広島港から】
 - 広島電鉄「比治山橋」下車+ 広島バス 23号線・10号線

11月9日(土) 15:00～16:30 霞キャンパス(広仁会館) 大会議室

同日、霞キャンパス「第46回霞祭(大学祭)」開催!

HCD学生チームに声をかけてください



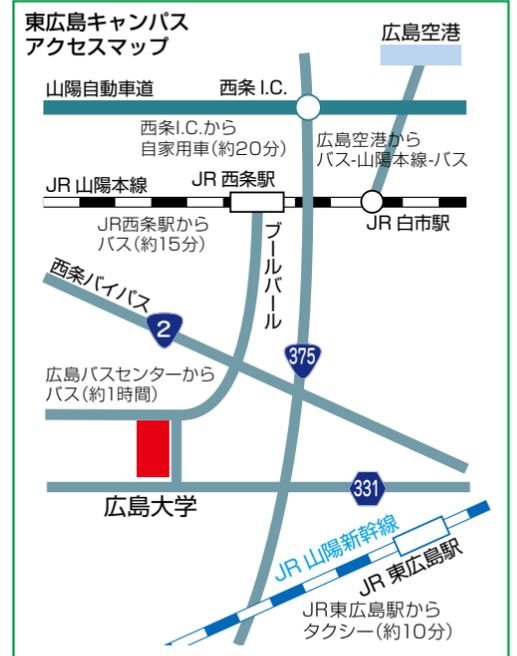
気軽に声をかけてください!

ピンクのジャンパーがめじるしです!

HCD 7th

第7回 広島大学ホームカミングデー
平成25年 11月2日(土)
10:00~(9:00受付開始/9:30開場)
広島大学東広島キャンパス

今年もホームカミングデーにご来場いただく方々をおもてなしするために、在学生チームを結成しました。メイン会場のサタケメモリアルホール前広場で、アイデアを凝らした企画を用意してお待ちしています。



クルマでご来場の方は「中央ロケート」からお入りください。

第7回目となった広島大学ホームカミングデー。今年は昨年よりもっとパワーアップし、卒業生の方はもちろん、お子さまも楽しんでいただけるホームカミングデーにしたいと思っています



この度副リーダーを務めさせていただくこと大変誇りに思っています。今回のホームカミングデーは今まで以上に、みなさまに楽しんでいただけるよう頑張ります!

第7回HCD学生チーム
リーダー 吉田 加奈(総合科学部2年)
副リーダー 合木 慎一郎(法学部2年)

今年の学生企画

- ステージ企画
- ブース企画
 - ・ 手つなぎ写真
 - ・ お好み焼き販売
 - ・ サークル紹介

多くの先輩方や物産展ブースの皆さん、ご家族連れ……学生にとっても、いろいろな人とコミュニケーションできる刺激的な1日です。



写真はすべて2012年ホームカミングデー

今年のHCD学生チームはFFから活動開始しました。

ホームカミングデーをアピール

5月3日~5日

広島市で「広島大学ホームカミングデー」をPRするために、5月3日からの3日間、「ひろしまフラワーフェスティバル(FF)」で広島大学校友会ブースを開設。HCD学生チームが卒業生の皆さんとのコミュニケーションをはかりました。



うちわにお絵かきしたり折り紙を貼ったり。低年齢の子どもたちは大喜び。学生たちも子どもたちと触れ合えて満足そう。



「土球をこねて表面をピカピカに磨く」という課題が子どもたちの心をとらえた!きつ☆サイエンスクラブの理科教室。



キャンドルサークル「灯」がオリジナルキャンドル作りを指導。こちらも大盛況でした。

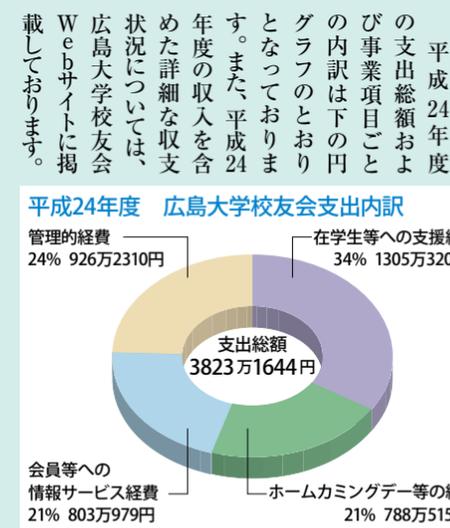


恒例「先輩見つけ隊」。今年は在学生、附属学校生も含め188人の方に手つなぎ写真を撮らせていただきました。

東日本大震災を機に設立されたボランティアサークル「OPERATIONつながり」は、インドの少数民族が作った日用品を販売。

11月2日、東広島キャンパスで再会できますように。

- 管理運営
 - ◇ 理事会3回、幹事会4回
- 入会促進
 - ◇ 入会案内・活動紹介資料の配付、入会記念グッズの配付
- 名簿管理システム改修・保守
- 校友会の連携支援
 - ◇ 入学式、学位記授与式における送迎バスの支援
 - ◇ 校友会だより第12、13号の発行、Webサイトより情報発信
 - ◇ 父母と大学との連携支援
 - ◇ 校友会の名称整理
 - ◇ 校友会の名称整理
- 校友会の情報交換と情報共有の促進
 - ◇ 校友会だより第12、13号の発行、Webサイトより情報発信
- 校友会の交流支援
 - ◇ 第6回広島大学ホームカミングデーの開催
 - ◇ 校友会の情報交換と情報共有の促進
- 学生の教育研究活動(下りチームチャレンジ賞、研究助成金)、課外活動、就職活動の支援
- 学生への様々な支援
 - ◇ 学生の教育研究活動(下りチームチャレンジ賞、研究助成金)、課外活動、就職活動の支援



校友会事務局から

平成24年度 広島大学校友会支出報告

広島大学校友会は、今年で設立7年目を迎えました。在学生の教育研究活動、課外活動、就職活動への支援をより一層強化し、卒業(修了)後は、大学の近況情報をお知らせすることで、生涯にわたって母校との連携を強化することを目指しております。また、広島大学校友会への入会を更に促進することにも努力しております。

『Phoenix Club』Vol.14
平成25(2013)年8月31日発行
(年2回発行予定)
編集・発行:広島大学校友会事務局
〒739-8514 広島市鏡山一丁目7番1号
学生プラザ2階
TEL&FAX (082) 424-6015
8:30~17:00(土・日・祝を除く)
E-mail ● sec@phoenix.hirodai.jp
Webサイト ● http://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/